

学びのネットワーク 市民講師によるサロン塾

「人材バンク推進委員の会と」市民大学との共同企画

第7回

温泉人「オフロードライフ」

—湯けむりの向こうに

自分が見える—

日時 11月22日(月) 13:30~15:30

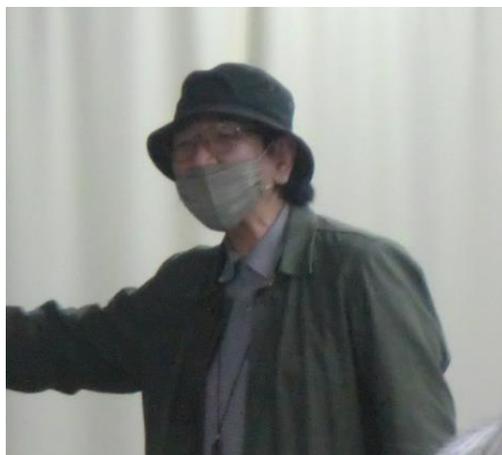
会場 鶴瀬公民館 いきいき活動

室

講師 鈴木 和夫 氏

受講生 11名

はじめに人材バンクの野崎氏よりご挨拶と鈴木氏の紹介。キャリアカウンセラー温泉人おふろ一ど(OFF ROAD)と自称され市内外で講演活動をされている。



講師 鈴木 和夫 氏

改めて本人より自己紹介があった。山形県出身で温泉人(おふろ一ど)温泉の狩人であり、墓石にも刻み永遠に残したいと考えるほどで、週末は家族とともに温泉を探求している。現在、約400か所の温泉を巡っているが、以前はNECのインターネットを推進する部に勤務中、病気を得て温泉の良さを思い出すきっかけとなった。

温泉人(おふろ一ど)は奥様の何気ない一言でありがたく感謝して頂く。「湯けむりの向こうに自分が見える」は雑誌記者が何気なく言ってくれた言葉で、これも有り難く了解をしてもらい自著の題名に考えている。

やはり自然から心の風景、故郷を思い起こす。富士見市が大好きなのは駅の近くから田圃が見えることで、富士見市の来訪者から好きなどころを聞き出して広報誌に掲載してほしい。改めて富士見市の良さを知らせることができる。

旅の途中で道草を楽しみながら時に立ち止まり、あるがままをじっくり見つめることを大切に人生を歩む、まさにおふろ一どでありたいと思っている。

1. 温泉人（おふろ一ど）流温泉の楽しみ方

- ① 自然に積極的にかかわった人生を歩むと決めた
- ② 自分の強み 東北人は名湯を知っている
- ③ 世代を超えて共通に良いねと言えるコミュニティー
- ④ 家族と一緒に、生涯にわたって関われる

2. 本物にこだわる

本物と出会う方法

- ① 現地の人（生活者）に直接聞く
- ② 達人に教わる
- ③ 人とは反対の動き方／その日の状況で動く
- ④ 時間に縛られない動き



3. 本物と出会う心持

- ① 気配に出会う心持
- ② 積極的に立ち止まる

4. 本物を学ぶ

- ① 現地・現物・現体験に勝るものなし
- ② 本物を知っている雑誌、本との出会い

家族の健康管理費と割り切って、毎週末の温泉巡り
鈴木氏は写真も趣味で、家族で温泉を巡った写真を資料に掲載してくれました。

5. 東日本大震災が温泉に与えた影響

未曾有の被害に多くの被災者が心身ともに傷ついたが、東北の多くの温泉地が受け入れ癒してくれた。

6. 温泉人の〈おふろ一ど〉の世界の鳥瞰図

図表を参照してほしい。



講師からの紹介で別のテーマでお話

かかりつけ医・健康保険への意識化

小林 桂子氏

鈴木氏の友人で医療保険の病院側で医療費請求を担当、のちに保険者側でレセプト管理をされていた方からのお話。皆さんの関心が高くお話を聞きたいという受講生がいました。

健康保険制度の仕組み、患者にとってどう健康保険と関わったらよいか専門的に概略の説明ができる方でした。

実際に糖尿病患者で、4か所の内科を受診し、調剤もそれぞれから受け取り服薬していた例を話されていた。通常の4倍の服薬をすることになり命に係わることになります。鈴木さんが自己紹介で述べたようにかかりつけ医の大切さが明確になりました。

最後に「これが読めれば、あなたは温泉通！」

難しい読みの温泉名に挑戦。受講生は夢中で読み合わせをしていました。そして受講生が夫々好きな温泉を発表。

温泉名に皆さんうなずきながらコロナ禍で温泉旅行もままならない中、温泉につかった気分になりました。



報告 加藤久美子